

平成22年2月9日

各 位

会 社 名 株式会社クエスト  
 代 表 者 名 代表取締役社長 佐藤 和朗  
 (JASDAQ・コード 2332)  
 問合せ先  
 役職・氏名 取締役 古谷 彰  
 電話 03-3453-1181

### 平成22年3月期通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

平成21年5月15日付当社「平成21年3月期決算短信」において発表いたしました平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の通期業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

#### 1. 平成22年3月期 通期連結業績予想の修正

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり当期純利益
前回予想(A)	7,250	325	335	203	円 銭 37.96
今回修正(B)	6,140	150	165	100	18.91
増減額(B-A)	△1,110	△175	△170	△103	—
増 減 率	△15.3%	△53.8%	△50.7%	△50.7%	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	7,281	281	305	213	39.37

#### 平成22年3月期 通期個別業績予想の修正

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり当期純利益
前回予想(A)	6,800	310	350	219	円 銭 40.95
今回修正(B)	5,740	130	180	115	21.75
増減額(B-A)	△1,060	△180	△170	△104	—
増 減 率	△15.6%	△58.1%	△48.6%	△47.5%	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	6,801	290	351	274	50.76

#### 2. 修正理由

当社の主要顧客である総合電気機器メーカーや部品メーカーは、政府の緊急経済対策等によるプラス面はあるものの、依然として経費削減、新規投資案件の凍結を継続しております。このような経済環境の下、当社は緊急対策本部を立ち上げ、売上の拡大、稼働率向上、不要不急の経費削減を柱とする諸策を実施してまいりましたが、当初計画していた売上・利益ともに達成が困難であると判断し、連結・個別の業績を上記の通り修正することいたしました。

連結業績の売上ににつきましては、顧客における新規情報システム開発投資案件の凍結に伴い新規受注が進まなかったことや、原価低減のためのコストダウン要請による受注単価の低下に伴いまして、前回予想を11億10百万円下回る61億40百万円となる見込みです。営業利益につきましては、販売費及び一般管理費の抑制に努めましたが、売上の減少に伴う利益の減少、受注単価の低下に伴う売上総利益の減少の影響が大きく、前回予想を1億75百万円下回る1億50百万円となる見込みです。経常利益、当期純利益につきましては、営業利益の減少の影響によるものであり、それぞれ経常利益は前回予想を1億70百万円下回る1億65百万円、当期純利益は前回予想を1億3百万円下回る1億円となる見込みです。

個別業績の売上ににつきましては、前回予想を10億60百万円下回る57億40百万円となる見込みです。営業利益につきましては、前回予想を1億80百万円下回る1億30百万円となる見込みです。経常利益は前回予想を1億70百万円下回る1億80百万円となる見込みです。当期純利益は前回予想を1億4百万円下回る1億15百万円となる見込みです。

### 3. 配当予想修正

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 (平成21年11月6日発表)	円 銭 0. 00	円 銭 35. 00	円 銭 35. 00
今回修正予想	0. 00	30. 00	30. 00
当期実績	0. 00	—	—
前期(平成21年3月期)実績	0. 00	35. 00	35. 00

### 4. 配当予想の修正理由

当社は、株主の皆様への安定的な配当を実施することを最重要課題の一つと位置づけており、企業体質強化と将来の事業展開に備えた内部留保の充実を勘案のうえ配当することを基本方針としておりません。

上記の業績予想の下方修正に伴い、当初1株当たりの期末配当金を35円00銭(年間配当金35円00銭)と発表しておりましたが、今回30円00銭(年間配当金30円00銭)と修正させていただきます。

(注) 今回の業績予想については、現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、上記予想と異なる可能性があります。

以 上